

2液弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー

フローンメタルプライマー-EPOII

◆ 特 長

1. 環境に配慮した塗料

弱溶剤系塗料の為、強溶剤系塗料のような強い臭気はありません。
また施工時の健康を配慮して、特定化学物質予防規則(特化則)に該当しない塗料になっています。
健康被害に対するリスク低減を考慮した塗料です。

2. 下地の選択性

各種旧塗膜、鋼板やアルミニウムなど各下地に優れた密着力を有し、防食性と環境性能を備えた塗料です。

3. 長期耐久性

無公害の防錆成分を配合する事で、優れた防食性を発揮し、長期に渡り優れた耐久性を発揮します。

◆ 容 量

品 名	容 量	色 名	標準塗付量	上塗り可能時間
フローンメタルプライマー-EPOII	15kgセット 主剤：13.5kg 硬化剤：1.5kg	ライトグレー (75-80A相当)	0.15~0.2kg/m ²	8時間~14日間(23℃)

◆ 塗料性状

項 目	試験結果
外 観	主剤：着色粘稠液 硬化剤：褐色粘稠液
混合粘度	15,000mPa・s
可使時間	5時間(23℃)
希釈割合	ハケ・ローラー：0~10% エアレス塗装：0~10%

◆ 温度別使用条件

可使時間						
温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
	10時間	8時間	5時間	3時間	1.5時間	
上塗り可能時間						
温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
最小	12時間	10時間	8時間	6時間	5時間	
最大	14日	14日	14日	14日	14日	

◆ 荷 姿



◆ 下地との付着性

金属素地	付着性	旧塗膜	付着性
鋼 板	○	ハイフローン	○
ガルバリウム鋼板	○	水性フロアー	○
カラータン	○	フローンタルサット	○
ステンレス	○	フローンフルトップ	○
アルミニウム	○	フローン#22	○
真 鍮	○	プロテクトコート	○
黒 皮	○	シリコントップII	×
電気亜鉛メッキ	○	シリコンルーフ	○
溶融亜鉛メッキ	○	断熱コートEX	○
		弾性トップ14	○
		エコトップ遮熱	○

※上記以外の材料につきましては、弊社までお問い合わせ下さい。

◆ 弊社製品上塗り適正

床・内外装・防水塗料	付着性
ハイフローン	○
水性フロアー	○
フローンアクアファースト	○
ソルエポ90	○
AUコート	○
フローンタルサット	○
アクアエポ	○
アースフローン	○
フローン#50・#55	○
フローンエポローラー	○
フローンフルトップ	○
シリコントップII	○
シリコンルーフ	○
プロテクトコート	○
ツインコートアクアHB	○
断熱コート	○
断熱コートEX	○
シートトップ#100	×
エコトップ遮熱	○
弾性トップ14	○
スーパートップ遮熱	○
フローン#12	○
フローン01X	○

◆ 標準工法

工程	材 料 名	使用量 (kg/m ²)	上塗り可能時間 (23℃)	備 考
1	素地調整	——	——	必ず2種ケレン以上を実施して下さい(3種、4種ケレンでは不十分です)。ケレンの状態、方法は下記【素地調整】の項目をご参照下さい。
2	フローンメタルプライマーEPOⅡ	0.15~0.2	8時間~14日間	主剤:硬化剤=9:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機にて攪拌後、必要に応じて塗料用シンナー又は塗料用シンナーAで0~10%希釈し、ハケ、中毛ローラー、スプレーにて塗布する。
3	各種上塗り塗料			

◆ 素地調整

素地調整の程度	既存塗膜の状態	素地調整後の状態	工具、工法	SSPC規格
1種ケレン	とくに腐食の著しい状態	塗膜、錆を完全に除去し、ピカピカした金属面とする。	ブラスト法	SSPC-SP5 SSPC-SP10
2種ケレン	塗膜が劣化し、腐食のはなはだしい状態	塗膜及び錆を除去し、鉄肌をあらわす。活膜が存在する場合は残す。	ディスクサンダーなど動力工具とワイヤーブラシなど手工具の併用	SSPC-SP3
3種ケレン	塗膜の殆どが活膜で部分的に損傷や発錆が見られる状態	全面に工具をあて劣化塗膜を除去し、発錆部は除去し鉄肌をあらわす。	(同上)	SSPC-SP2
4種ケレン	活膜であって変色・白亜化・付着物などが多い状態	粉化物及び汚れを除去し清浄にする。	ワイヤーブラシやサンドペーパーなどの手工具	——

◆ 注意事項

【施工上の注意事項】

- 下地は、砂・ゴミ・ホコリ等を完全に取除き、充分に乾燥させて下さい。
- 使用時には主剤と硬化剤を既定の割合に混合し、充分に攪拌して均一な塗料状態にして下さい。
- フローンメタルプライマーEPOⅡは、2液反応型塗料ですので、配合比は主剤:硬化剤=9:1(重量比)で計量し、電動攪拌機で充分に攪拌したのち使用して下さい。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使用して下さい。
- 主剤粘度は、特に低温時期に高くなります。開缶前に缶を振ることで塗料が流動し、取扱しやすくなります。
- 上塗り可能時間以内に塗り重ねを終わるようにして下さい。なお、経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどで研磨し、さらにウエスにて拭いて清浄にしてから塗装して下さい。
- 希釈には塗料用シンナー又は塗料用シンナーAを使用して下さい。
- 塗装終了後の使用機器やハケは、直ちに塗料用シンナー又はラッカーシンナーなどで充分に洗浄して下さい。
硬化反応が進行した塗料は、塗料用シンナーでは洗浄が困難な場合があるので、その場合は、ラッカーシンナーなどを洗浄に使用して下さい。

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- 塗料のついたウエスや塗料カス、スプレーダストは廃棄するまで水につけておいて下さい。
- よくフタをし、40℃以下の一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器又は粉末消火器を用いて下さい。
- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化などがある場合は、医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時は、安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取り、その布を水の入った容器に保管して下さい。
- 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき十分な管理をお願いします。
- 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。

【使用上の注意事項】

●取り扱い上の注意

- 火気のない局所排気装置を設けたところで使用して下さい。
- 塗装中、乾燥中は換気をよくして、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 取扱い中は、皮膚にふれないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
(有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、長そでの作業着、エリ巻きタオル、保護手袋等)。

《注意事項》

- 通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いについては、容器に表示された注意事項を守ってください。
- アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けてください。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)

※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)を御参照ください。

※SDSは弊社HPIにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照ください。

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
 ※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。
 ※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

URL <https://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.1 '24.05.3000